

平成 2 5 年 9 月 1 0 日

各 位

株式会社 東京証券取引所

東証上場会社における社外取締役の選任状況等について

このたび、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）では、上場会社における社外取締役の選任状況等について集計を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

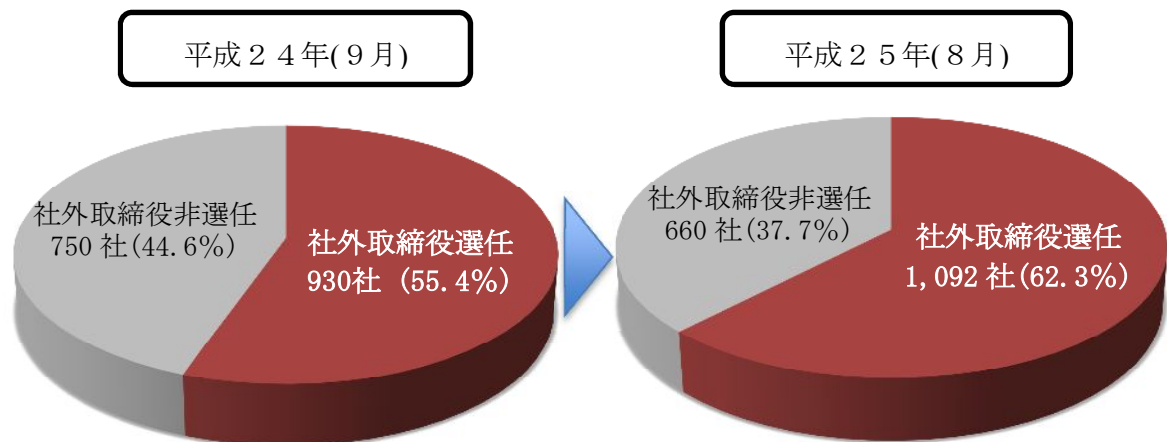
1. 集計結果

- 社外取締役を選任する上場会社(市場第一部)の比率が60%を突破。

社外取締役を1名以上選任する上場会社(市場第一部)の比率は、昨年より7.0ポイント(162社)増加し、62.3%(1,092社)となりました。全上場会社では、本年7月より統合したJASDAQを含めて54.2%(1,840社)と過半数が社外取締役を導入しています。(図表1、2)

2. 図表

図表1 社外取締役の選任状況（市場第一部上場会社・昨年比）



図表2 社外取締役等の選任状況（全上場会社）

集計対象		社外取締役を選任		(参考)独立社外取締役 ¹ を選任	
		会社数	比率(※1)	会社数	比率(※1)
市場第一部上場会社【1,752社】		1,092社 (+162社)	62.3% (+7.0%)	821社 (+170社)	46.9% (+8.1%)
市場第二部上場会社【570社】		264社 (-)	46.3% (-)	103社 (-)	18.1% (-)
マザーズ上場会社【184社】		120社 (+6社)	65.2% (+0.4%)	61社 (+6社)	33.2% (+1.9%)
JASDAQ上場会社【888社】		364社 (-)	41.0% (-)	162社 (-)	18.2% (-)
全上場会社【3,394社】		1,840社 (-)	54.2% (-)	1,147社 (-)	33.8% (-)
(参考)TOPIX500(※2)構成銘柄【502社】		404社 (+56社)	80.5% (+10.7%)	369社 (+66社)	73.5% (+12.8%)

※1 括弧内は昨年比。本年7月の現物市場統合により構成銘柄が大きく変化した市場第二部と新設されたJASDAQ、それらを含む全上場会社については昨年との比較は行っていない。

※2 「TOPIX500」は、東証市場第一部銘柄（内国普通株式）の中から、時価総額及び流動性の高い500銘柄で構成される株価指数であり、東証市場第一部時価総額の約90パーセントをカバーしている。構成銘柄は、毎年10月末に定期的な見直しが行われるほか、新規上場や上場廃止等によって変動する。

3. 集計対象

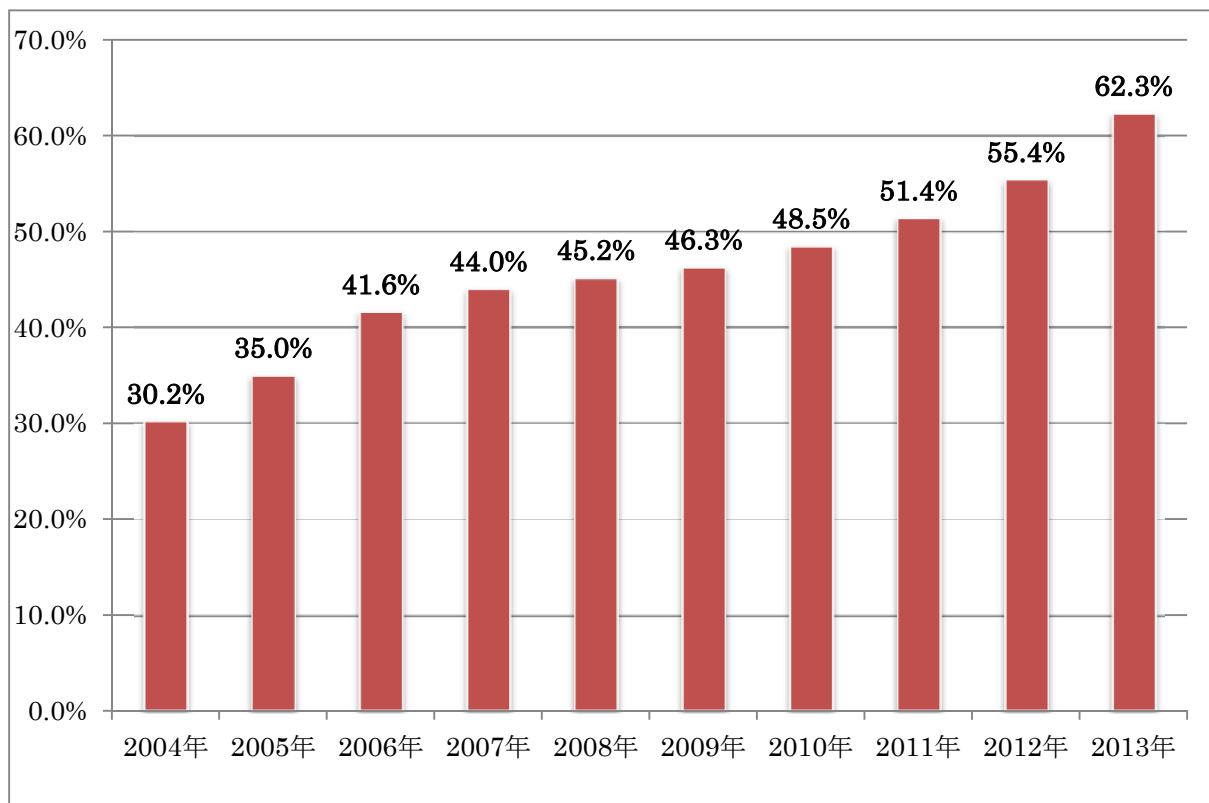
- 集計対象は、東証上場会社が平成25年8月31日までに提出した最新のコーポレート・ガバナンスに関する報告書²。
- 比較対象としている平成24年の数値は、コーポレート・ガバナンス白書2013のデータ（平成24年9月10日時点で提出されているコーポレート・ガバナンスに関する報告書データ）に基づいて集計。

¹取締役である独立役員。独立役員とは、一般株主と利益相反が生じるおそれのない社外取締役又は社外監査役をいいます。

²上場会社は、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方などを記載したコーポレート・ガバナンス報告書を提出するとともに、内容に変更が生じた場合、遅滞なく変更内容について記載した書面を提出することとされています。

4. 参考

図表3 社外取締役等の選任比率の推移(市場第一部)



※2004年、2005年、2007年、2009年、2011年は上場企業のコーポレート・ガバナンス調査(日本取締役協会)の数値

それ以外は東証上場会社コーポレート・ガバナンス白書の数値より作成

以上